

家族であること 介護すること

- 在宅と施設のあいだで -

今回のシンポジウムでは、家族が介護を続けるにあたって、「施設」という選択肢について考えます。遠距離での介護、介護者自身の高齢化、仕事との両立の困難など、家族が介護をするには、多くの問題が伴います。住み慣れた家で暮らしたいという意識が高まる一方で、施設での介護という転機、その決断に、悩みためらう家族介護者は少なくありません。施設に預けるという選択が、「家族であること」にどのような意味をもつのでしょうか？また、介護を通じて「家族であること」を支えるためには、どのような社会的支援が必要なののでしょうか？1979年に、老人ホームでの母親の介護体験をまとめた「老人ホームじゃなぜ悪い」という記事を書いて大きな社会的反響を呼んだ、早瀬圭一先生の基調講演をもとに、施設と在宅との「あいだ」をめぐる問題について深めていきたいと思ひます。

日時:2011年3月12日(土)13:00~16:30

会場:立命館大学衣笠キャンパス 以学館4階 5号教室

基調講演:早瀬 圭一先生

(毎日新聞特別編集委員、北陸学院大学副学長)

【早瀬圭一先生のプロフィール】

毎日新聞記者を経て、「サンデー毎日」別冊編集長。1982年、『長い命のために』で大宅壮一ノンフィクション賞受賞。現在、毎日新聞客員編集委員。2008年から北陸学院大学副学長・教授。

申込み不要 公共交通機関をご利用ください

【関連企画】男性介護ネット総会・2周年記念式典

場所:立命館大学衣笠キャンパス

3月12日(土)17:00-19:00 前夜祭 (会場:末川記念会館B1Fカルム)

3月13日(日)10:00-12:00 男性介護ネット第3回総会

13:00-16:00 2周年記念式典 (会場:創思館1Fカンファレンスルーム)

記念講演:荒川不二夫さん(男性介護ネット代表)

要事前予約 お申込みの詳細については下記URLをご参照ください

http://www.ritsumeihuman.com/news/news_10/temp/20110313.pdf

【問い合わせ先】立命館大学人間科学研究所

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL 075-465-8358 FAX 075-465-8245 E-Mail ningen@st.ritsumei.ac.jp